



ONE PLANET
CITY CHALLENGE

ワン・プラネット・シティチャレンジ ONE PLANET CITY CHALLENGE (OPCC)

～地球1個分で暮らせる都市づくり～
参加自治体への手引書 2025-26

WWF ジャパン



目次

ワン・プラネット・シティチャレンジ（OPCC）とは？	3
OPCC における 5 つの段階	4
自治体がパリ協定の野心と整合するために	7
気候変動対策計画の証拠に基づく評価	8
戦略的フィードバックレポート	9



ONE PLANET
CITY CHALLENGE

本手引書は、WWF スウェーデンが作成した「PARTICIPANTS BOOKLET WWF'S ONE PLANET CITY CHALLENGE 2025-26」の抄訳に一部補足説明を加えたものです。原文は[こちら](#)をご覧ください。

OPCC 全般についての問い合わせ

WWF ジャパン Email: climatechange@wwf.or.jp

WWF スウェーデン OPCC チーム Email: opcc@wwf.se

CDP-ICLEI Track への登録や報告に関する問い合わせ

一般社団法人 CDP Worldwide-Japan Email: cities.japan@cdp.net

一般社団法人 イクレイ日本 Email: iclei-japan@iclei.org

ワン・プラネット・シティチャレンジ (OPCC) とは？

ワン・プラネット・シティ・チャレンジ (OPCC) は、WWF が 2 年に 1 度開催する自治体参加型の国際プログラムで、自治体が統合的かつ野心的な気候変動対策を策定することを通じ、レジリエンスを高めることを支援しています。OPCC は、参加自治体が優れた気候変動緩和・適応策を開発し、それらを広く普及するとともに、最も野心的なリーダー自治体を多くの方に知っていただくことを目指しています。

OPCC に参加するためには、各自治体は気候変動に関する取り組み、戦略、データを、標準化された国際プラットフォームである [CDP-ICLEI Track](#) を活用して報告します。その報告プロセスの一環として、WWF は各自治体から報告された計画を、グッドプラクティスに基づく気候変動対策計画の基準に照らして審査します。

参加自治体には、WWF の評価結果をまとめたフィードバックレポートが送られます。これには、提出された目標が、地球温暖化を 1.5°C に抑えるというパリ協定の目標と整合しているかどうかの情報が含まれています。さらに、気候変動対策計画がその目標に対してバランスが取れているかどうかを検証し、目標を達成するための最も効果的な対策に関する高いレベルのガイダンスを提供します。

参加都市は、WWF が主催するキャパシティ・ビルディング・ウェビナーや、WWF の各国オフィスが特定の地域プログラムやイベントを運営する場合にはこれらに参加することができます。これらのプログラムには、食料、自然に根差した解決策 (NbS)、適応、プラスチック廃棄物、輸送交通など特定の分野を含むことがあります。

WWF は、気候変動リーダーを他の都市が後に倣って続くよう、その成果を励みになるものとして紹介します。最も堅牢で信頼性の高い報告を行った自治体は最終候補として選出され、最終的には様々なカテゴリーで受賞者が決定します。最終候補の自治体は、各自治体の気候変動対策への意識を高め、市民からの支援とフィードバックを集めることを目的とした、WWF の世界的な市民参加キャンペーン「[We Love Cities](#)」に参加することができます。

OPCC は、他の複数の自治体向けイニシアティブと連携し、自治体の報告作業の負担を最小限にすることで、参加する自治体が最大限のメリットを得られるよう努めています。OPCC が求めるデータ要件は、世界気候エネルギー首長誓約 (Global Covenant of Mayors: GCoM) の共通報告フレームワークと一致しています。

OPCC は 2011 年の発足以来、着実に成長を続けています。現在までに、70 か国から 900 以上の都市が少なくとも一度は OPCC に参加しています。

OPCC における 5 つの段階

OPCC は以下の 5 段階で進められます。



段階1 登録と報告

OPCC に参加を希望する自治体は、以下の流れで登録と報告を行います。

1. CDP-ICLEI Track を通じて OPCC にご参加ください。当該システムにログインすると、利用可能なイニシアティブの一覧から OPCC 参加オプションを選択することができます。2023～24年度のOPCCに参加した自治体は、2025～26年度に自動的に登録されています。同システムのアカウントをまだお持ちでない場合は、CDP シティ担当 (cities.japan@cdp.net) にご連絡ください。報告内容（質問書）等詳細は [こちら](#) からご覧いただけます。
2. OPCC の報告要件に従って、CDP-ICLEI Track にデータを入力します。この報告要件は、世界首長誓約（GCoM）の共通報告枠組みにも準拠しています。評価基準等の詳細については技術文書をご参照ください。CDP-ICLEI Track への回答提出が始まる6月中旬*からデータの開示を開始できます。報告のメリットを最大限に高めるには、CDP のスコアリング締め切りである9月中旬までに提出することをお勧めします。これにより、他のイニシアティブへの参加が可能になります。9月から11月の間、自治体は質問書を更新および改善する機会があります。CDP-ICLEI Track は11月に締め切られ、OPCC への参加資格を得るには、それまでに公開形式で提出する必要があります。

*すべての日程は暫定的で変更の可能性があります。最新の情報は、[CDP](#) または [自治体向け情報ページ](#)をご覧ください。

段階2 提出データを WWF が評価・レビュー

提出されたデータは、OPCC の評価フレームワークと採点フレームワークを用いて評価されます。このフレームワークは、気候変動による温室効果ガス排出量算定とリスク、緩和目標と適応目標（包括的、統合的、科学的根拠に基づく）、気候行動計画、戦略および／または行動の実施、そして成果に基づくモニタリングに重点を置いています。最も堅牢で信頼性の高い報告を行った自治体が最終候補として選出されます。各国につき最大 3 自治体が最終候補として選出されます。OPCC 評価フレームワークに関する詳細は、[自治体向け情報ページ](#)で公開されます。

段階3 フィードバックとキャパシティビルディング

参加自治体には、「OPCC 戦略フィードバックレポート」が提供されます。これは、各自治体の気候変動対策の推進を支援するために自治体ごとにカスタマイズされています。このレポートは、全体像を明確に理解し、具体的な改善の機会を特定し、効果的な政策立案のためのコミュニケーションを強化するように設計されています。レポートには、各自治体の気候変動目標が、世界全体の気温上昇を 1.5°C に抑えるのに相応な削減量（フェア・シェア）と整合しているかどうかの評価、各都市の緩和策と適応策、気候リスク、成果に基づくモニタリングに関するフィードバックが含まれています。このレポートは、進捗状況を測るベンチマークとして機能し、各自治体の気候変動対策の実効性を向上する新たな機会を特定するツールにもなるでしょう。

この評価に加えて、OPCC 参加自治体は WWF の戦略支援プログラム（Strategic Support Program: SSP）にも招待されます。このプログラムは、ウェビナー、ガイド、グループベースのコーチングがダイナミックに組み合わせられており、参加自治体が戦略的な気候変動対策を強化するためのツールと計画的なプロセスを提供するとともに、自治体間で知識を共有する豊富な機会も提供します。

段階4 市民参画キャンペーン「We Love Cities」

各国から最大 3 つの優れた自治体が、世界的な市民参画キャンペーン「We Love Cities: WLC」に招待されます。WLC キャンペーンでは、市民のみなさんが最終選考自治体のうち一番好きな自治体へ応援の意思表示ができるとともに、さらにその自治体が取り組みを加速するための提案を提出することができます。

We Love Cities を通じて、自治体は下記のことできます。

- ・ 地域レベルでの持続可能性の進展を促すための意識を喚起し、醸成する。
- ・ 一般市民が意思決定者に提案を提出することで、自分たちの自治体を褒め、投票し、改善する機会を提供する。
- ・ 地域社会に貢献し、市民と地方自治体の絆を強化する。

段階 5 優秀自治体を表彰

報告されたデータに基づき、様々なカテゴリーで高得点を獲得した自治体は国、地域、そして世界レベルで表彰されます。私たちの目的は、気候変動対策の成功を称え、気候変動の緩和と地域のレジリエンス構築に意欲的な都市に光を当てることです。WWF は、これまでの取り組みの進捗状況に関わらず、自治体に OPCC への参加を呼びかけ、持続可能性、レジリエンス、そして 1.5°C 目標達成に向けた道のりを歩み始めるお役に立てることを楽しみにしています。



© Michel Gunther / WWF

自治体がパリ協定の野心と整合するために

2015 年、温室効果ガス排出削減のための共同コミットメントに約 200 か国が集まり、歴史的な協定「パリ協定」が調印されました。その目的は、「世界の平均気温の上昇を産業革命前の水準と比べて 2°C より十分低く抑え、1.5°C にとどめる努力を追求すること」でした。

その後、2018 年には、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) が 1.5°C 特別報告書を発表し、1.5°C と比べ、2°C の地球温暖化が、人間や自然のシステムへどれほどより大きな被害をもたらすのかを示しました。そして、地球温暖化をこの安全な限度内にとどめるためには、世界の温室効果ガス排出量を 2030 年までに半減し、遅くとも 2050 年までに、できるだけ早くゼロにする必要があると結論付けました。それゆえ、OPCC は、この 1.5°C という目標に照らして、自治体の行動計画と目標を評価するのです。

OPCC のベンチマークを達成するか、それを下回ることは、自治体が 1.5°C 目標へのコミットメントを示すものです。これは、地球の気候システムを守るために必要とされる気候科学の知見に基づくコミットメントです¹。このアプローチにより、自治体は、温室効果ガス削減目標を比較するための、公平で堅牢かつ実用的なベンチマークを持つことができます。

1 詳細については、以下をご参照ください： IPCC, 2023: Climate Change 2023: Synthesis Report. Contribution of Working Groups I, II and III to the Sixth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change [Core Writing Team, H. Lee and J. Romero (eds.)]. IPCC, Geneva, Switzerland, 184 pp., doi: 10.59327/IPCC/AR6-9789291691647.



気候変動対策計画の証拠に基づく評価

深く全体論的な排出削減を目標とすることは重要なコミットメントですが、それは明確で実行可能な計画に裏打ちされるものでなければなりません。OPCC 評価フレームワークは、先進的な気候変動対策計画フレームワークからの知見を組み込むことにより、これをサポートしています。OPCC 評価では、自治体の緩和策が、主な排出源や効率的な気候緩和を提供できる IPCC 戦略と整合しているかを検証します。また推定される気候リスクに関して気候変動対策が十分であるかどうかを検証します。



戦略的フィードバックレポート

OPCC の評価結果は、「あなたの自治体の気候変動解決に向けた旅の評価」というタイトルで、参加自治体ごとにカスタマイズされたフィードバックレポートとして作成されます。そのスコアは、一定の基準に基づいて決められます。スコアリングと評価の詳細については、[ウェブサイト](#)に公開予定※の更新版採点フレームワークをご覧ください。※2025 年 6 月末までに公開予定ですが、7 月 17 日時点で未公開です。

評価結果は、主に次の 2 つの面から示されています。

「ビジョン」は自治体のコミットメントと変革を推進する能力を表します。

(例：GHG 排出量と気候変動によるリスクの評価、緩和と適応の目標、結果に基づくモニタリングなど)

「インパクト」は自治体が行う現行の気候変動対策による削減ポテンシャルを表しています。

(例：緩和策や適応策の行動計画やその実施など)

合計スコアが最も高い自治体が最終選考自治体選ばれ、次のフェーズに進みます。グリーンウォッシングのリスクを回避するために、一連の最低スコアと品質管理プロセスが適用されます。

YOUR CITY'S FAIR SHARE OF THE PARIS AGREEMENT

The Paris Agreement's essential target: holding global warming to 1.5°C.

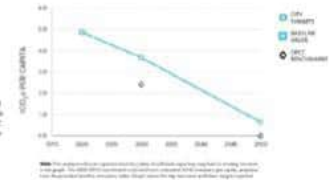
To find out how to 1.5°C cities can to better understand the target and what it means for your city, please visit the [1.5°C Alignment Method](#).

The graph below shows the 1.5°C Alignment Method, assessing your city's share of the Paris Agreement. Meeting or outperforming the OPCC benchmark aligns your city's contribution to the 1.5°C target—a commitment **presented to you**.

To learn more about the OPCC 1.5°C Alignment Method, visit the [OPCC 1.5°C Alignment Method](#) or [Technical Document](#).

1.5°C Alignment Method assesses your city's share of the Paris Agreement's 1.5°C target, based on your city's GHG emissions and population. The 1.5°C Alignment Method is a key tool for cities to understand their contribution to the 1.5°C target.

1.5°C Alignment Method assesses your city's share of the Paris Agreement's 1.5°C target, based on your city's GHG emissions and population. The 1.5°C Alignment Method is a key tool for cities to understand their contribution to the 1.5°C target.



ONE PLANET CITY CHALLENGE | STRATEGIC FRAMEWORK REPORT 2023-2024

17

YOUR CITY'S CLIMATE PERFORMANCE

Achieving climate success means tackling emissions and building resilience.

To define cities need to reduce emissions and adapt to climate success.

The following on the right shows your city's performance across key stages of the climate transition. Lighter shades represent the total possible score, while darker shades show your city's actual results, with the maximum score available on light.

Use this graphic to identify your city's strengths and areas for improvement.

For detailed scoring, contact your nearest WFP office or the OPCC Technical Helpdesk ([opcc@wfp.org](#)).

1.5°C Alignment Method assesses your city's share of the Paris Agreement's 1.5°C target, based on your city's GHG emissions and population. The 1.5°C Alignment Method is a key tool for cities to understand their contribution to the 1.5°C target.

1.5°C Alignment Method assesses your city's share of the Paris Agreement's 1.5°C target, based on your city's GHG emissions and population. The 1.5°C Alignment Method is a key tool for cities to understand their contribution to the 1.5°C target.



ONE PLANET CITY CHALLENGE | STRATEGIC FRAMEWORK REPORT 2023-2024

18



私たちが目指すのは、世界各地に
ワン・プラネット・シティを作る
サポートをすることです。
この唯一の惑星がもつ環境の限
界を超えることなく、すべての
人々が豊かに暮らせる都市を。

© 2025

© 1986 Panda symbol WWF – World Wide Fund for Nature (Formerly World Wildlife Fund)

®“WWF” is a WWF Registered Trademark.

WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 3 階 TEL: 03-3769-1711（代表）